

パーツフィーダひと筋55年。 検査機等の省力化機械も製作

パーツフィーダと呼ばれる、製造ラインへの部品供給装置を製造するシマテック。昭和44年の創業時から一貫してパーツフィーダ製造に携わり、組立装置・検査装置・搬送機等の製造や、他社製パーツフィーダの修理も手掛ける。

供給する部品は材質も形状も様々な上に高い達成率を要するため、職歴10年でも未熟といわれる匠の仕事だ。そんな厳しい世界で、55年の長きにわたり事業を継続。自動車や電機、医療機器など、日本の多様なものづくりの根幹を支えている。

住 所 | 〒570-0011 大阪府守口市金田町1-13-23
TEL | 06-6902-2882 FAX | 06-6902-8424
創 業 | 昭和44年 設 立 | 平成5年5月
資本金 | 1,000万円 従業員 | 4名
H P | <https://pfd.co.jp/company/>

■主な事業内容
部品供給装置・組立装置・検査装置の製造、修理、メンテナンス

■主な取引先（納品先）
自動車メーカー、自動車部品メーカー、電機メーカー、医療機器メーカーなど



株式会社シマテック

WEBサイト

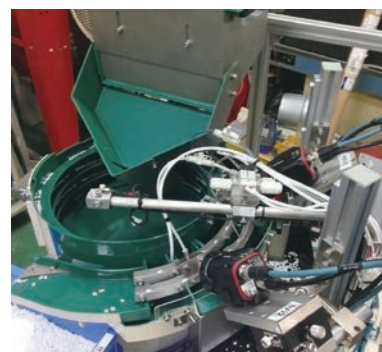


代表取締役

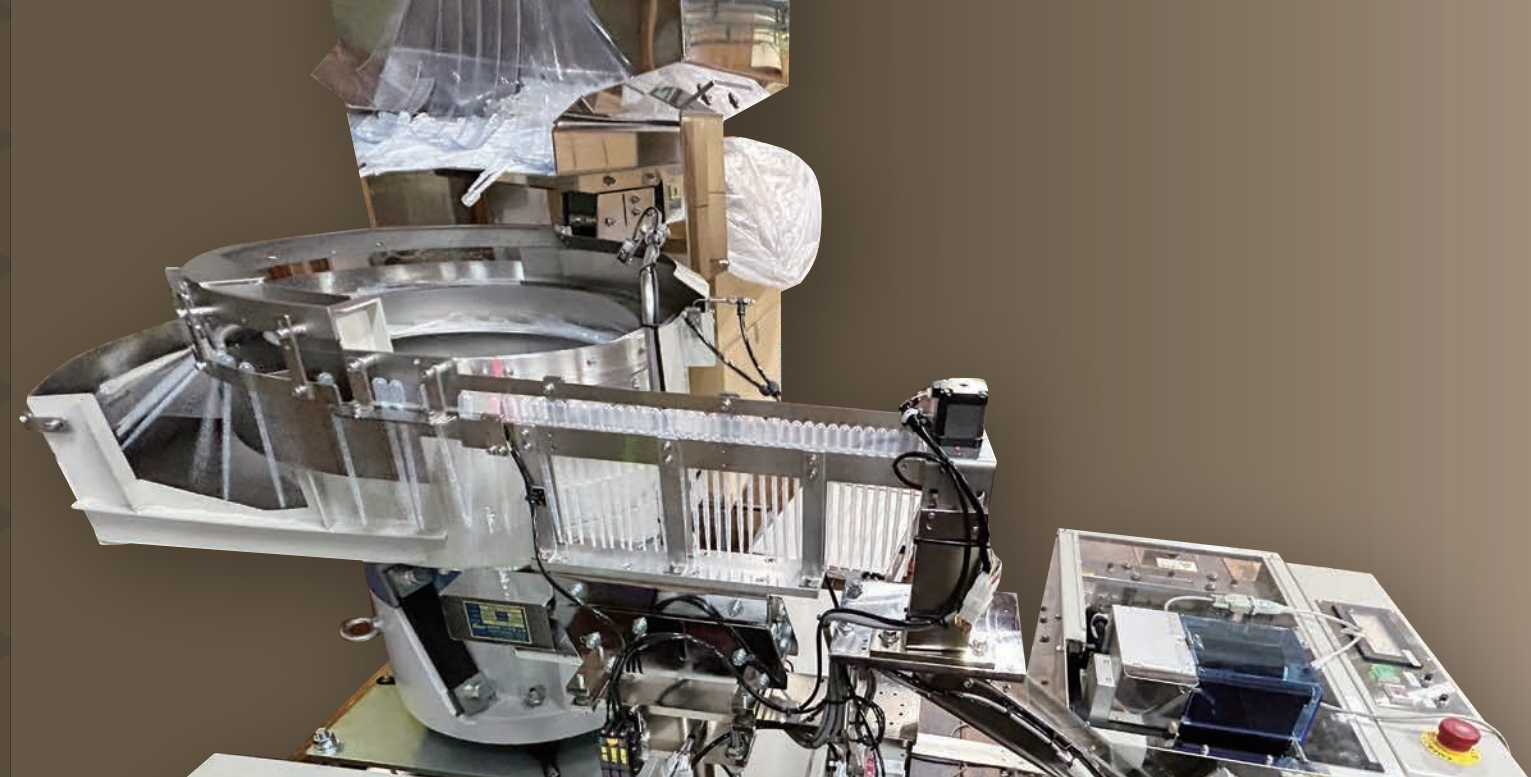
島原 光明さん

パーツフィーダは生産効率のかなめ 見えない所に手間暇をかけ、 耐久性の高い装置を提供

パーツフィーダの不具合で生産稼働率が落ちて悩んでいるお客様は非常に多く、他社製品の装置を修理・点検して痛感することは、見えない所を手抜きして製作されていたり、適切でない作り方や表面処理がされて、能力が十分に発揮されていないケースが見受けられることです。パーツフィーダは、生産能力を左右する最も重要な装置ですので、不適切なパーツフィーダを導入し、チョコ停に悩まされて、生産効率が悪い状態で使い続けることは、お客様の会社にとって大損害となります。弊社では、最適な装置をご提供できるように努めております。



2カメラ画像検査機



極み

他社製装置の 修理にも対応。 難題への挑戦で技術を磨く

同社には、他社製装置の修理依頼も寄せられる。急ぎの依頼が多いことに加え、最初から製造するより難易度が高いため、対応できる企業は少ない。しかし、高い技術力と協力会社との連携により対応を実現。こうした難題への挑戦を、技術力の向上に繋げている。

取り
組み

出し惜しみしない 情報発信で最適製品の 普及・浸透に尽力

会社ごとに製造する機械も使用する部品も異なるため、すべてに適したパーツフィーダはない。自社に最適な装置が1台でも多く使われるよう、代表自らブログやYouTubeで情報を発信。蓄積したノウハウを、出し惜しみすることなく公開している。

今後の
展開

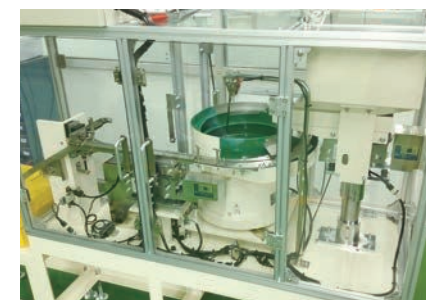
職人技を テクノロジーで代替 近年中の本格運用を目指す

高齢化やなり手不足による職人の減少傾向は、同社でも顕著。打開策としてカメラとロボットを組み合わせた新しいパーツフィーダを開発中で、2025年の本格運用を目指す。「将来的にはこの技術も動画等で発信して当社の技術を世に残したい」と代表は語る。

推 し ポ イ ン ト

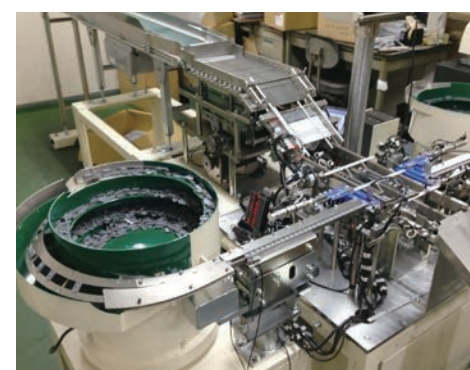
長期休暇中に修理対応

大型連休中に稼働率の
悪くなった装置を
メンテナンス

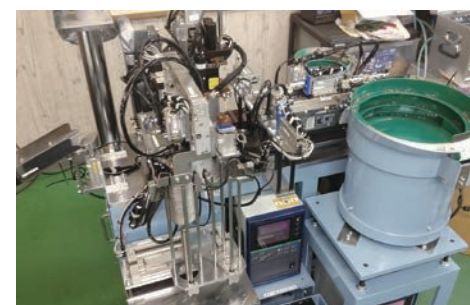


経年劣化により稼働率が低下するパーツフィーダ。修理やメンテナンス、入れ替えは、顧客の工場が長期で非稼働になるGWや盆、正月など大型連休に行うケースが多い。そのため同社では大型連休が稼働日となる。

過去には、パーツフィーダでの扱いが難しく他社が敬遠するゴム製部品対応装置の依頼に対し、年末年始の工場非稼働期間に総入れ替えを行い顧客に感謝されたことも。こうした喜びを皆で分かち合えるのは、社員4名の少数精鋭だからこそ。代表との距離が近く、失敗を恐れず果敢に挑戦できるのも特色だ。



バインダー部品組付機



スポット自動溶接機